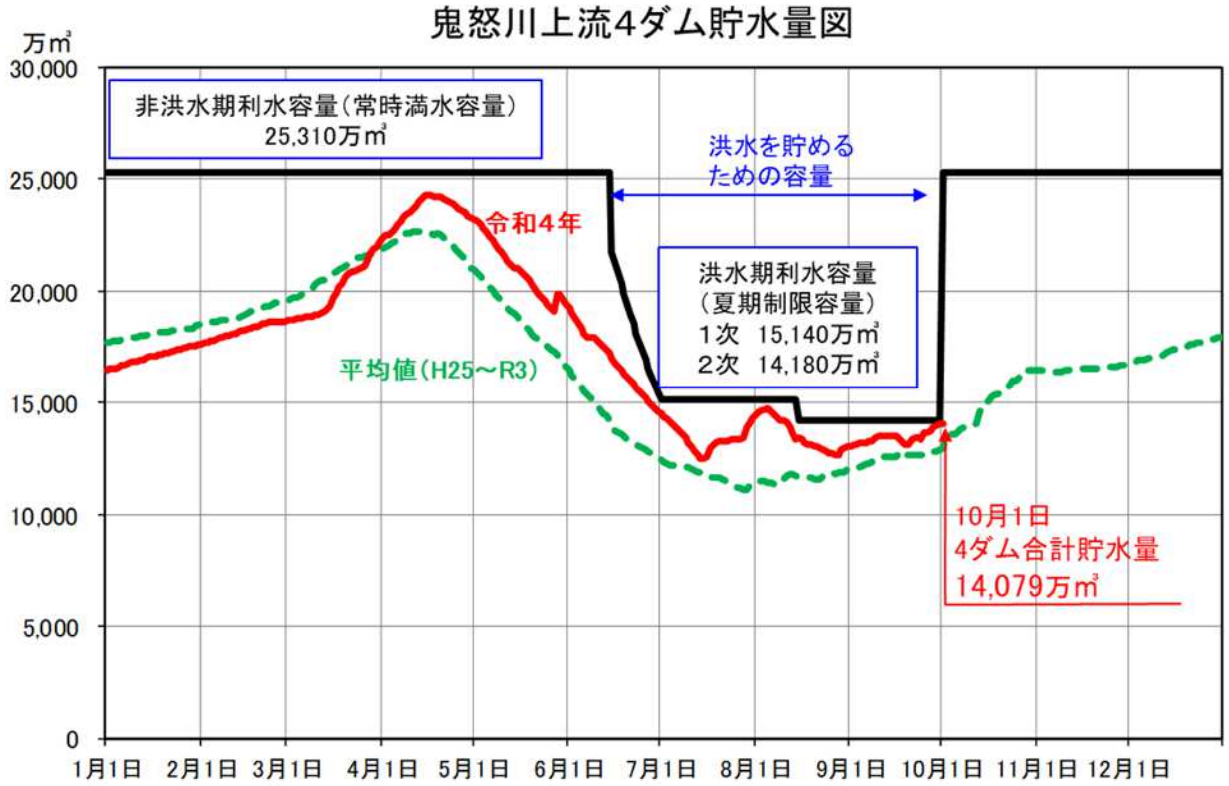
ダムの「貯水率」の表記が変更になりました。

ダムの貯水率は、利水のための貯水池の容量（利水容量）に対する現在の貯水量の比率を表したものです。

鬼怒川4ダム(五十里・川俣・川治・湯西川ダム)は、治水と利水を目的とする多目的ダムであり、6月15日 ～ 9月30日の間は、洪水を貯める容量(洪水調節容量)を確保する必要性から、利水容量と治水容量が入れ替わり、利水容量が小さくなっていますが、10月1日～翌年 6月14日の期間は、利水容量として常時満水容量まで貯水可能となります。

この容量の入れ替わりに合わせて、貯水率の表記が変わります。



●貯水率の計算式

貯水率 ＝ 当日の貯水量 ÷ 有効容量 × 100%

1年間を次の3つの期間に区分して、有効容量を使い分けます

現在

・10月1日から6月14日までは、常時満水容量の25,310万㎥。

・7月1日から8月14日までは、1次夏期制限容量の15,140万㎥。

・8月15日から9月30日までは、2次夏期制限容量の14,180万㎥。

注1. ダムごとの貯水率を求める場合には、同じ計算式により、ダムごとの貯水量、有効容量を使用して計算します。

注2. 6月15日から6月30日までは、川治ダム、湯西川ダムの制限水位が等差的に変動することから、有効容量についても日々変わります。

このようにして本年（令和4年）の貯水率を求めると、下の表の通りとなります。

貯水率 ＝ 当日の貯水量 ÷ 有効容量 × 100%

【令和4年9月30日の貯水率】

ダム名	有効容量（万㎥）	貯水量 ※1（万㎥）	貯水率（%）
五十里ダム	1,120	875	78
川俣ダム	4,860	4,966	100
川治ダム	4,000	4,082	100
湯西川ダム	4,200	4,109	98
4ダム合計	**14,180**	14,032	**99**

※1 令和4年9月30日の貯水量

【令和4年10月1日の貯水率】

ダム名	有効容量（万㎥）	貯水量 ※2（万㎥）	貯水率（%）
五十里ダム	3,200	893	28
川俣ダム	7,310	4,971	68
川治ダム	7,600	4,107	54
湯西川ダム	7,200	4,108	57
4ダム合計	**25,310**	14,079	**56**

※2 令和4年10月1日の貯水量

このように9月30日の貯水率99%が、10月1日には56%の表記となりました。貯水率が小さくなったのは、ダムの貯水が減ったのではなく、ダムに貯められる限度の容量が大きくなったためです。

鬼怒川ダム統合管理事務所